



つくば霞ヶ浦りんりんロード
tsukuba-kasumigaura ring ring road ibaraki japan



昨年度（令和2年度）の利用者数について

- つくば霞ヶ浦りんりんロードの昨年度の利用者数（推計値）は、コロナ禍の中ではありましたが、105,000人と対前年度比1.13倍の増加となりました。

- 利用者数の推移

	H27年度 (2015年度)	H28年度 (2016年度)	H29年度 (2017年度)	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)
利用者数	39,000人	48,000人	55,000人	81,000人	93,000人	105,000人
対前年度比	—	約1.23倍	約1.15倍	約1.47倍	約1.15倍	約1.13倍

※利用者数について

つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線において実施した定点観測の結果などをもとに、推計しております。

- 利用者数の増加要因について

① コロナ禍での健康志向・アウトドア志向の高まり

② つくば霞ヶ浦りんりんロードの知名度、魅力度の向上

- ・インフルエンサー等を活用した効果的な情報発信（メディア等での取り上げ）
- ・ポータルサイトの充実、公式 SNS（twitter、Instagram）及び YouTube チャンネルの開設
- ・「体験王国いばらき」キャンペーンやイベント等による県をあげての情報発信及び誘客促進

③ サイクリストの受入環境の充実

- ・星野リゾート BEB5 土浦^{※1}のオープン（R2.3）

※1 日本最大級のサイクリングリゾート「プレイアトレ土浦」内の星野リゾート初の自転車を楽しむホテル

- ・道路舗装及び休憩所（土浦市～桜川市区間）のリニューアル

- ・サイクリングマップ看板の設置

- ・つくば霞ヶ浦りんりんルート^{※2}の整備開始

※2 つくば霞ヶ浦りんりんロードを核とした多様な地域資源（筑波山、フラワーパーク、茨城空港等）を巡るルート。

- ・サイクリストにやさしい宿の認定開始（認定施設数：25施設（R3.4末））

- ・新たなサイクリスト向けスポットの誕生（小田小交流プラザ^{※3}OPEN（R2.9）、かすみがうら
ドッグ&MTBパーク^{※4}OPEN（R3.3））

※3 廃校を活用したサイクリストも休憩所として利用できる地域の交流スペース（つくば市）

※4 ドッグランのほか、本格的なマウンテンバイクコース、キャンプが楽しめる施設（民間業者）

④沿線市町村や民間における新たなサイクルイベント等の開催等誘客促進

- ・ライドア라운드（自転車で街を巡るポイント獲得ゲーム。土浦市で初開催。その後かすみが
うら市でも開催）
- ・バイクロア（大人と子供の自転車運動会&文化祭。アトレ（株）が土浦市で初開催）
- ・茨城シクロクロス（オフロードで行われる自転車競技）のりんりんポート土浦初開催
→上記開催実績により、今年のシクロクロス全日本選手権（12月11日（土）～12日（日））
の会場に決定。

○ 今後の主な取組

- ①休憩所を活用したサイクリストウェルカムイベント^{※5}の実施。
- ②茨城県サイクルステーション整備支援事業（つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線上の施設をサイク
リストに必要な設備を有した施設とするための補助事業）の実施。
- ③街中に誘導するための周遊イベント（スタンプラリー等）の実施。
- ④サイクリストにやさしい宿の更なる認定及びPR。

⇒ナショナルサイクルルートの指定効果と周辺観光資源を
最大限活用し、サイクリストによる消費額を増加させ、
「稼げる地域づくり」に取り組む。



※5 4月3日、4日に実施した
サイクリストウェルカムイベントの
模様（藤沢休憩所（土浦市内））



茨城県

IBARAKI Prefectural Government

■お問い合わせ 茨城県県民生活環境部スポーツ推進課 藤田，中嶋
TEL 029-301-2735（直通）